



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.93
2018年 4月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

トラブル続出?!

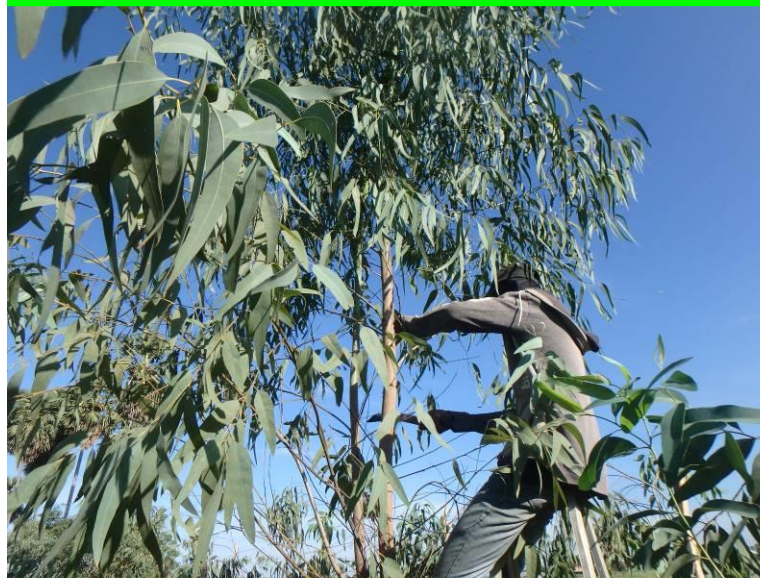
皆さんこんにちは。4月カンボジアで一番暑い季節の到来です。農場では4月に入ると時々雨が降るようになります。雨が降ると外の気温は下がりますが、雨が降る直前に低気圧の影響から強風が吹きます。農場には周りに風を遮るものがないため猛烈な風が吹くことがあり、自然の脅威を肌で感じるがあります。今月は自然の脅威から農場で起こったトラブルや、今月農場で収穫したユーカリやマンゴーについてお伝えしたいと思います。



マンゴーを手に笑顔

◇マンゴー収穫、出荷

SAJ Farm で採れたマンゴーを孤児院へ出荷しました。収穫したマンゴーは全部で 107 kg。最初に近くの市場で買い取ってもらえるお店を探しましたが、どのお店を廻ってもマンゴーが溢れているため買い取ってもらうことはできませんでした。次にプノンペン卸業者に連絡して買い取りできないか確認しましたが、残念ながらプノンペンでも買取できないと連絡がありました。今回収穫したマンゴーはそのまま腐らせてしまうのはもったいないので、孤児院へ送り子どもたちに食べてもらうことにしました。子どもたちが喜んでる写真がとても嬉しいです。



ユーカリの収穫風景

◇ユーカリ収穫、蒸留試験

ユーカリの蒸留試験を行いました。ユーカリは日本でも好まれる香りの一つで、レモングラスの香りとあわせるとタバコの匂いを消すなどレモングラスととても相性の良い香りの一つです。SAJ Farm では2年前に試験栽培として苗を植え育ててきました。今年、木が大きく成長したため収穫して試験蒸留をしました。ユーカリの木は2m以上の部分をナタで幹ごと切り取り、作業場に持ち帰ってから枝についた葉を手でむしり取ります。ユーカリの木 20 本から採れたユーカリの葉は全部で 27 kg になりました。収穫した葉は蒸留器に入れて蒸留しました。ユーカリ生葉 12 kg に対し 21 cc の精油が取ることができました。



屋根のビニールが大破したビニールハウス

◇自然の脅威ハウス損壊

雨が降るようになると、低気圧の影響を受けて農場には強風が吹きます。今年2月に張り替えたばかりのビニールハウス 1 棟が、強風にあおられて屋根のビニールが大破しました。原因は張り替えに使ったビニールの強度不足です。今年張り替えに使ったビニールは、今まで購入していたお店がビニールを取り扱わなくなったため、代用品として別の店で買ったものでした。以前の物より薄く強度に不安があったのですが、カンボジアですぐに手に入るものがなかったため試しに購入しました。カンボジアには日本のように農業資材自体の数が少なく、また良い資材は輸入したものであるため高価になります。カンボジアでの農業の大変さを身に染みて実感しています。



消火後の畑の様子

◇レモングラス畑焼失

雨が降る日もあれば、晴天が続くことも多い 4 月、レモングラス畑の一部が隣接した道路の茂みから発生した火事により焼失しました。煙に気づいたスタッフがポンプを使って消火作業にあたりましたが、風が強くレモングラスの枯草に火が燃え移り、約 30a のレモングラス畑が焼失してしまいました。直ぐに警察を呼び現場を確認してもらいましたが、おそらく道路を歩いていた人間が、火のついたタバコを投げ捨て、それが火種になったのではないかとのことでした。目撃者や証拠もないためそれ以上捜査をすることができず犯人もわかりませんが、一歩間違えば人命を失う出来事に犯人に対し怒りで手が震えます。



レモングラスに水を撒く農家さん

◇農家さん向け講習会

農家さん向け講習会では、契約農家ハイさんのレモングラス畑で水撒きを行いました。農場にあった貯水タンクをトラックの荷台に積み、農場のため池からポンプで水を汲み上げ、ハイさんの畑まで水を運びました。畑に着いて貯水タンクに付けた蛇口から青いタルに水を入れ、レモングラス 1 株ずつに手作業で水を撒きました。炎天下の中、水の入ったタルを抱えながらトラックと畑の間を何度も往復する作業は大変で、農家さんもスタッフも汗だくになりながら作業していました。作業後は皆で BBQ を行い、少しでも早く雨が降ってくれることを願いました。